



厚岸町議会議員
大野 利春

新春を迎えて

新年、明けましておめでとうございます。
町民の皆さまには、新たな希望と抱負を胸に、清々しい気持ちで新年をお迎えのことと謹んでお慶びを申し上げます。

平素より町議会に深いご理解と関心をお寄せいただいておりますことに、議会を代表し、感謝とお礼を申し上げます。

振り返って昨年は、1月1日に能登半島で発生した地震に加え9月には豪雨により、被災されました皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

本町では、友好都市である山形県村山市とのさまざまな交流のうち、昨年8月の「むらやま徳内まつり30周年」にあたり、本町の訪問団総勢34人が訪問し、さらなる友情を深めたところであります。また、議会では議会改革の一環として、皆さまに議会をより一層知っていただくため、令和6年第1回定例会からの一般質問を録画し、YouTubeで配信を始めました。当面は予算をかけずに現状の設備のまま、できる範疇で録画配信しますが、今後は、さらに設備を充実させていきたいと考えております。

さて、今もなお諸情勢により燃料や物価が高騰し、町民生活に深刻な影響を与え続けております。

議会としては、行政に対する議会の果たすべき役割は、ますます大きくなっているものと認識しておりますので、本年も町民の皆さまの声に耳を傾け、課題解決に向けて積極的に取り組んでまいります。

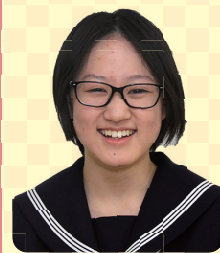
また、本年6月に執行を予定されている町長選挙に併せて、厚岸町議会議員補欠選挙が執行される予定でありますので、ぜひとも皆さまの中から多くの立候補があることを期待し、住民の代表機関である議会として、「みんなの”あっけし”新時代の創造に向かって」の着実な実行により、「厚岸町」であり続けるための議論を重ね、皆さまの期待に応えるよう議員全員決意を新たにしております。

厚岸町の限りない発展と、町民皆さまのご健勝ご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。

今年1年、 夢に向かって 充実した学校 生活を送ります

令和7年(2025年)は干支でいう『巳年』です。
町内の小学校・中学校・高校の児童生徒の皆さんに、
今年の目標や抱負を聞きました。

2025年も
よろしくお願い
するでござる！



太田中学校2年
佐々木 南菜美さん

今年の目標の1つ目は、全校生徒と先生方みんなの意見を取り入れた生徒会活動を進めること、2つめは来年度から3年生となり、中学校生活最後の1年なので、学校生活を楽しみつつ、入試に向けてしっかりと準備することです。



太田小学校6年
佐々木 渉さん

今年の目標は、6年生の漢字を覚えることです。そのためにがんばりたいことは、漢字の練習です。中学校に進学するまでに、6年生の漢字を覚えて、すらすら使えるようになりたいので、たくさん練習します。

今年の目標は、『生徒会として厚岸中学校をさらに盛り上げる』です。今年度は、学校行事の見直しなどを予定しているので、改善して昨年度よりも楽しく取り組める活動ができるようにがんばります。

厚岸中学校2年
米原 世夏さん



真龍中学校2年
山岡 すみれさん

私は来年受験生なので、入試に向けて今以上に勉強に励んでいきたいです。さらに、生徒会活動の中で、会長としての責任を持ち、よりよい学校にするために、仲間と協力して活動していきたいです。

今年は、4月から中学生なので、勉強と部活の両立をできるようにしたいです。そのために、今から体力づくりや、6年間の勉強の復習をしていきたいです。卒業までいろいろな学年と遊び、たくさんの思い出をつくらせていきたいです。

福井 梨恋さん
厚岸小学校6年



真龍小学校6年
平原 和真さん

私が今年特に努力したいことは、中学校での勉強です。なぜなら、中学校3年間の学びが、高校につながるからです。また、残りの小学校生活では、中学校に向けて礼儀正しい行動を意識しながら過ごしていきたいです。

生徒会に入って、分からないことも多く、自分の意見をあまり言うことができませんでした。そのため、今年は自分の意見をしっかりと述べ、生徒一人一人が過ごしやすき学校をつくっていきたくです。

塚田 翔稀さん
翔洋高校1年



私の今年の目標は、調理師になるための知識や技術を身につけることです。それに加え、生徒会として全校生徒が楽しめる行事を企画することや、他の生徒会メンバーと協力し、過ごしやすき学校となるよう努めていきたいです。

翔洋高校2年
五十嵐 ももさん



厚岸町長
若狭 靖



年頭にあたって

新年明けましておめでとうございます。

皆さんには、希望に満ちた輝かしい令和7年の新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、町民の皆さんの温かいご支援を賜り、着実に町政を推進できましたこと厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ると、物価高騰による日常生活での経済的負担が依然として大きいため、住民税減税やがんばろう厚岸応援券の発行で町内の経済対策を講じてきたところであります。

また、防災・減災対策として進めている「(仮称)厚岸町防災交流センター」の建設に着手するとともに、町民生活に大きな影響を及ぼす基幹産業を守るため、「厚岸町地球温暖化対策実行計画」の策定や、二酸化炭素排出量削減と温水プールの通年利用を進めるため、木質バイオマスボイラーの導入を進めているところであります。

今年は、現在見直し中の、町の道しるべとなる「第6期厚岸町総合計画」後期行動計画をスタートさせるとともに、防災交流センターが完成し、津波発生時には町民の命を守る避難施設として、通常時には町民の交流の場として利用することが可能となります。

また、厚岸霧多布昆布森国定公園の誕生による、地場産業と一体となった観光業と基幹産業を中心とする地域活性化のため、交流人口増加や物流拡大、さらには命の道となる北海道横断自動車道根室線「尾幌糸魚沢道路」の事業促進と「別保・尾幌間」の早期事業化にさらに取り組むとともに、子野日公園などの観光施設整備や水産業・酪農業等の発展のための各種施策を積極的に進めてまいります。

私にとっては6期目の最終年であり、これまで、めざすまちの姿として掲げてきた「みんなの“あっけし”新時代の創造に向かって」全力で取り組んでまいりますので、皆さまの変わらぬご支援をお願い申し上げます。

結びに、新春の門出に当たり、厚岸町の限りない発展と、皆さんの今年一年のご多幸を心から祈念いたしまして、年頭にあたってのご挨拶といたします。